

1971年8月7日第3種郵便物認可（毎月6回）1の日・6の日  
2016年3月24日発行SSKA増刊通巻第8894号

# SSKA

## 全国パーキンソン病友の会会報 茨城県支部だより

2016年3月24日発行[第100号]



満開の菜の花ばたけ(土浦市)

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒301-0856 茨城県龍ヶ崎市貝原塚町 3552-6

TEL&FAX 0297-64-3546

郵便振替口座 00300-4-38042

Eメール yasuhisa.u@hb.tp1.jp

## 目 次

◎	目次	2
◎	平成 28 年を迎えて	3
◎	平成 27 年度第 2 回県南地区交流会を開催して	4
◎	坂本先生のリハビリ資料の抜粋を掲示	5
◎	平成 27 年度第 2 回県南地区交流会に参加して ①	9
◎	平成 27 年度第 2 回県南地区交流会に参加して ②	10
◎	平成 27 年度第 2 回県南地区交流会に参加して ③	11
◎	私のパーキンソン病	12
◎	県央・県北患者・家族交流会に思う ①	13
◎	加藤さんが頂いたお礼状	14
◎	県央・県北地区の交流会に参加して ②	15
◎	県央・県北地区の交流会に参加して ③	16
◎	県央・県北地区の交流会に参加して ④	17
◎	口の清掃から全身の健康	18
◎	平成 27 年度署名・募金のご報告	19
◎	事務局からのお知らせ	23
◎	編集後記	24

## 平成 28 年を迎えて

支部長 植本泰久

平成 28 年を迎えて早 3 ヶ月が過ぎようとしています。昨年は 6 月に水戸市にて全国大会を開催し、12 月には支部設立 30 周年記念の講演会に順天堂大学名誉教授の水野美邦先生をお迎えして行い、また水野先生のご好意で個人相談も行って頂きました。水野先生は今年も茨城県に来られて個人相談を受けて下さるとも言って頂いておりますので、今年も行おうと考えています。

さて、一昨年難病新法が成立し、27 年 1 月 1 日から施行されています。旧特定疾患の医療費助成はパーキンソン病のヤール 3、4、5 の方のみでしたが、新しい指定難病特定医療費では軽症の方も受けられるという大きな違いがあります。「軽症高額該当について」をお知らせ致します。わからないときは保健所に相談するとよく教えて下さいますので参考にして下さい。

### 「軽症高額該当について」

- ① 月ごとの医療費総額が 33,330 円を超える月が年間 3 回以上ある（例えば医療保険の 3 割負担の場合、医療費の自己負担が 1 万円以上の月が年間 3 回以上）者は、軽症者であっても医療費助成の対象として認定
- ② 月ごとの医療費総額が 5 万円を超える月が年間 6 回以上ある（例えば医療保険の 2 割負担の場合、医療費の自己負担が 1 万円を超える月が年間 6 回以上ある）者を「高額な医療が長期的に継続する患者」（「高額かつ長期」）として負担を軽減（参考ですが、もし 2 カ月分が 5 万円を超える場合、2 か月に 1 回受診すると、5 万円以上が 6 回になるので該当する。）



## 平成 27 年度第 2 回県南地区交流会を開催して

龍ヶ崎市 植本純代

県南地区の交流会は2月21日(日)に龍ヶ崎市の馴染コミュニティセンターの多目的ホールにおきまして開催致しました。参加者は会員・家族が54名、一般の参加者は30名で、他に茨城県難病支援センターの佐々木峯子さん他2名お手伝いを頂き、合計人数は87名となりました。

今回の午前中はハワイアンバンド「ネイティブ」の演奏とおカリナ遠音<sup>とおね</sup>の演奏で10時から11時10分まで行って頂きました。その中で遠音の司会をなさっている方から「私は、80歳以上で、今日が見えなくなっていますが、演奏の仲間と一緒になので今でも楽しんでやられている」という心うつお話がありました。

その後は自己紹介と近況報告でしたが、人数が多いので自己紹介を行うと時間が足りなくなりますので、質問のある方に、挙手してもらい、話してもらうことにしました。殆ど一般の方が質問され時間が過ぎました。

12時からは昼食の時間です。近く

の方といろいろなお話をする絶好の機会です。皆様それぞれ話をしながら楽しい食事になったことと思っています。

13時からは茨城県立医療大学の理学療法士で、講師の坂本由美先生とアシスタントの理学療法士さん、学生さんのボランティアの方々がお見えになりました。坂本先生のお話を聞きながら「自宅でできる運動・体操」のリハビリ実技の指導を頂きました。お借りした会場にヨガマットの備えがありましたので、6枚並べて指導を頂きました。

私は案内状をお出ししました時にパーキンソン病は投薬とリハビリは車の両輪になっていますので継続して行うことをお勧めしておりました。

指導を受けた中で、自分にできることを決めて3~5点ぐらいでも良い、毎日行うことが大事であると思っています。

皆様もストレッチのリハビリで、これからも元気に頑張ってください。



交流会の会場



オカリナ遠音(とうね)

全国パーキンソン友の会 茨城県支部  
平成27年度第2回県南地区患者家族の交流会

自宅でできる運動・体操

茨城県立医療大学 理学療法学科  
坂本 由美 (理学療法士)

パーキンソン病患者さんの運動の目的

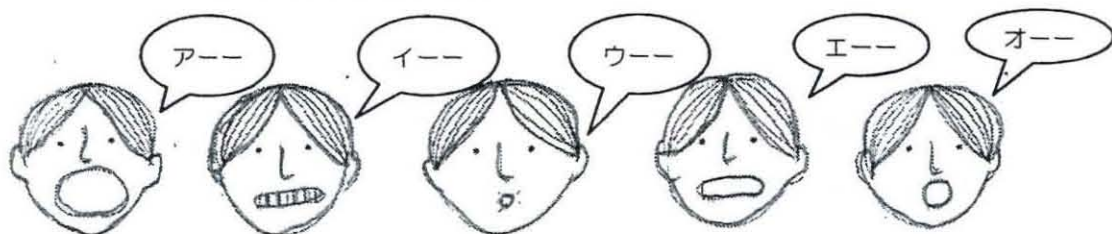
- 体力を保つ
  - 筋力を保つ
  - 柔軟性を維持する
  - バランス能力を維持する
- 
- 疾患に特有な症状により、動く量が少なくなり、動くスピードも遅くなるため、運動量をまず確保して、体力を保ちましょう
  - 筋肉が強張ると、関節の動きが悪くなり、筋肉の柔軟性が低下したり、筋肉が短縮することもあるので、柔軟性を維持し、筋力が発揮しやすい状態を保ちましょう。
  - 体のねじれを伴う運動が難しくなり、起き上がったり、歩行時に方向変換することが困難になりやすいので、柔軟性を維持し、姿勢の調節機能を高めましょう。

## 本日紹介する運動・体操の注意点

- ・ 紹介する運動や体操は、パーキンソン病の患者さんに必要な要素を含む一般的な運動・体操ですが、同じパーキンソン病を患う患者さんでも、個々に必要な運動の種類や運動の負荷量は異なりますので、担当のPT（理学療法士）に相談したり、指導を受けましょう。
- ・ 運動や体操は順番通りに全てを行う必要はありません。自分に合った運動、できる運動を選んで行いましょう。
- ・ はじめは1つの運動を2～3回繰り返し、徐々に増やして10回程度繰り返すようにしましょう。
- ・ 運動や体操は、立位でも座位でもできるものがあります。自分に合ったやり方で、安全を重視しながら行いましょう。
- ・ 疲れたら、すぐに休憩をとりましょう。また、こまめに、たっぷりと水分補給をしましょう（特に夏の時期）。
- ・ 運動や体操の途中で気分が悪くなったり、異変を感じたら、すぐにご家族に伝えましょう。

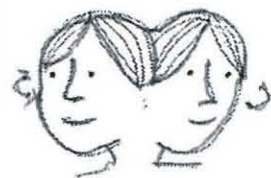
## 発声練習

大きな声を出す練習も運動になります。

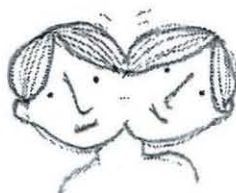


ア、イ、ウ、エ、オの音をはっきりと大きな声で、長く伸ばして発声してみましょう。好きな歌を唄ったり、本を音読するのも良いでしょう。

## 頭と頸の運動

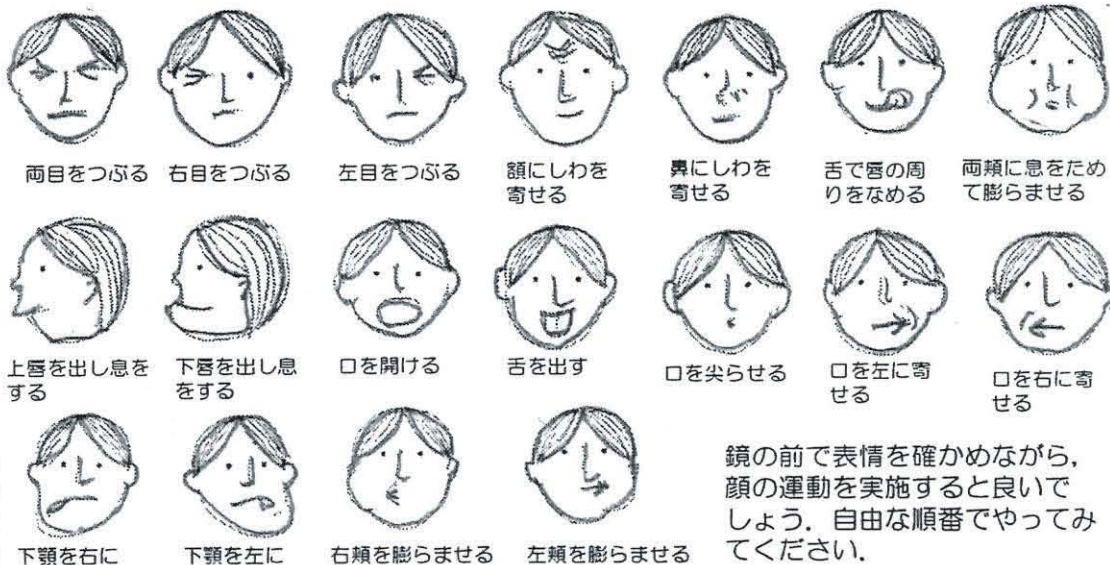


頭をゆっくりと左右に倒したり、左右に回してみまじょう。ただし、頭は大事な神経が通っているので無理に動かしてはいけません。頭の怪我をしたことがある人、頭の障害がある人は、頭と頸の運動はやめまじょう。

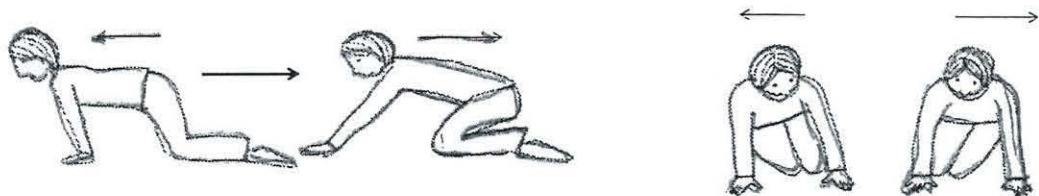


# 顔の運動

- ・ パーキンソン病の方は、顔の表情の変化が乏しくなりやすいので、顔の体操で顔の筋肉の強張りを減らし、リラックスさせて顔面の動きを良くしましょう。
- ・ 各運動を5回程度行いましょう。終わった後は力を抜いて、リラックスしましょう。

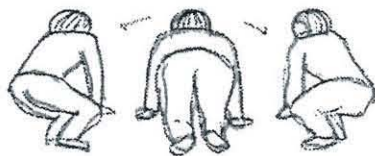


# 四つ這い姿勢でのバランス練習



四つ這い姿勢になり、前後に体重を移動しましょう。

四つ這い姿勢になり、体重を左右に移動しましょう。腕だけではなく、足にも体重をかけましょう。



四つ這い姿勢になり、そこから左右にゆっくりと腰を落として、また元の四つ這い姿勢に戻りましょう。



- ・ 四つ這い姿勢から、片方の腕あるいは足を持ち上げて伸ばしましょう。
- ・ 四つ這い姿勢から、片手を上げて、次に反対側の足を上げて、できるだけまっすぐ伸ばしましょう。
- ・ 同側の手足を上げてみましょう。

## 寝た状態で行う運動



うつ伏せになって、床に両手をついて、ゆっくりと状態を起こして体を反らしましょう。



仰向けに寝て、両手で片足の膝を抱え込み、深く曲げてゆっくり10数える。伸ばしている足は床から浮かないように、気をつけましょう。



両膝を立てて、顎を引き、手を膝の方へ伸ばし、息を吐きながら頭と肩を床から浮かせましょう。その後、ゆっくり元の姿勢に戻りましょう。



仰向けに寝て、両膝を立てた姿勢から、お尻を持ち上げてみましょう。両手は床上、あるいはお腹の上におきましょう。両手を組んで天井に腕を伸ばしても良いでしょう。



仰向けに寝て、両膝を立てた姿勢から、両足を揃えて左右にゆっくり倒してひねりましょう。両手は床に置るか、両手を組んで腕をまっすぐ伸ばしても良いでしょう。



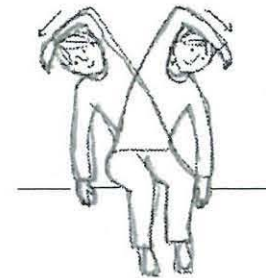
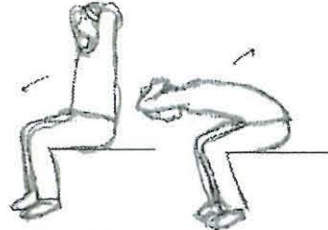
両手を組んで腕を持ち上げ、足を伸ばしたまま寝返る練習もしましょう。



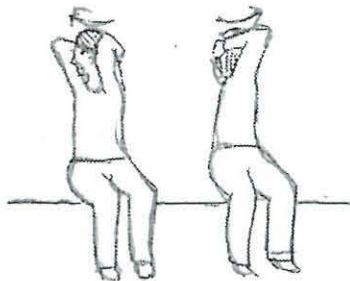
## 座って行う運動



椅子やベッドの端に座り、両手を頭の後ろに組んで、ゆっくり体を前後に曲げ伸ばしましょう。フラフラする人は、腕を胸の前で組む、あるいは手を太ももの上に置いて、体を曲げ伸ばしてみよう。



椅子やベッドの端に座り、体を左右に倒して脇腹を伸ばすようにしましょう。



椅子やベッドの端に座り、両手を頭の後ろ、あるいは胸の前で組んで、ゆっくり体を左右にひねりましょう。



## 平成 27 年度第 2 回県南地区交流会に参加して ①

つくば市 若山 弘

昨年は体調に自信がなく、友の会の行事にも欠席することが多く失礼しました。平成 28 年は早々に県南地区の患者家族の交流会へお誘いいただき不安はありましたが出席させていただきました。

家から会場(馴柴コミュニティーセンター)まで、徒歩 20 分、バス 23 分、JR 6 分、徒歩 10 分は、薬の副作用のため自動車の運転を止められている私にとっては結構きつい移動時間でしたが、妻の協力を得て出席出来ました。

当日会場に到着して、まず驚いたのは参加者の多いことでした。聞くところによると一般の方を含め 80 名以上(会員 60 数名)の出席者で、交流会では多い参加者でした。「常陽リビング」への開催記事の掲載等、役員の皆様のご努力が実ったものと思います。これが仲間の輪の広がりにつながればと期待します。交流会は事務局役員のご案内で予定どおり進行しました。

※ハワイアンバンド “ネイティブハワイアン” による軽快な音楽の演奏と歌、ひととき若かりし日を思い出しました。

※ボランティア “遠<sup>とう</sup>音<sup>ね</sup>” による

オカリナの調べは何時聞いても神秘的な音色で心打たれ堪能しました。和気あいあいの昼食後、午後のメインテーマ

※「自宅でできる運動・体操」と題して講師:茨城県立医療大学 理学療法学科 医学療法士 阪本由美先生のこれまでの研究、経験からパーキンソン病にみられる運動症状・障害、重症度、運動の目的、注意点の詳細な説明と各種の運動実技について 2 時間にわたり熱心に、解かり易くご指導をいただきました。有難うございました。私は患者の一人として運動の目的を理解し、自分に合った体操をリハビリとして無理なく継続していくことの大切さを改めて思いました。役員の皆様有意義な 1 日を有難うございました。今後ともよろしく願います。

奇しくも交流会当日 2 月 21 日の朝日新聞に以下の見出しを目にしました。

☆パーキンソン病の薬や治療法

「iPS バンク」作り研究へ(順天堂大・慶応大)

## 平成27年度第2回県南地区交流会に参加して ②

つくば市 森良子

午前の部、ハワイアン演奏に続くオカリナ演奏の進行役の方の終わりのご挨拶「私は緑内障が進み、もう楽譜も読めなくなりましたが、こうやって仲間と活動を続けています」に驚きました。ご自身も患者さんなのですね。

発病から20年以上の夫はこの1年、物が二重に見える症状を抱えています。昨夏の交流会の折、何人かの方が、似た症状が有ると話してくださり、自分達だけではないと気付けたのですが、自分で用意し始めた薬の数が途中で分からなくなったり（朝晩は10錠）、レジでお釣りが沢山返ってきたように見えたり…ですので、目の不具合を抱えながらもボランティアなさる姿に「どうしても『出来なくなったこと』を中心に考えざるを得ないけれど、『まだ出来ること』も忘れないように生活しよう」と、考えさせられました。

午後の部の身体のリハビリと共に「心のリハビリ」も受けた気がしました。

午後の、自宅でできる運動・体操は、沢山教わりました中から1つ…顔の運動で「舌を出す・舌で唇の周りをなめる」通常舌を出す・舌なめずりするはマイナスイメージですね。でも、2月末、生まれて1ヵ月半の孫に会いに行きましたら、舌を出すのです！おっぱいが欲しいときですとかに。

大人も童心に帰ってやりますと、嚙下障害のリハビリにもなります。  
♪

考えてみますと、支部長様と事務局長の奥様も、我々と同じ患者と家族…その姿勢から学ばせて頂くことが多いです。交流会当日は、支部長様、体調を崩され欠席でしたが、どうぞその後回復されますように。



## 平成27年度第2回県南地区交流会に参加して ③

取手市 関 恵子

交流会の2月21日は寒い日でした。1時間遅れで新入会の方との参加でした。会場は空席がない程の参加者でいっぱいでした。会員の方の期待の大きさを感じました。

アトラクションのオカリナ演奏を聞き悩みごと相談になりました。

むくみや夜間の頻尿など様々な症状の訴えに先輩会員からの回答やアドバイスがあり、またDBSの不安に対しては経験者からの行き届いた報告があるなど交流会ならではの当事者間の具体的な応答に関心を持って拝聴しました。

その後の昼食の時間は、隣り合わせの方と歓談しながら過ぎました。

午後は「自宅でできる運動・体操」というテーマで県立医療大の坂本由美（理学療法士）先生のリハビリ

運動の指導でした。顔の運動から様々な体位で行う運動をアシスタントの方と共に実技指導されて数人の方が実践されました。リハビリ運動の例は頂いた資料に図示されてありますが、やはり実際の動きで示されないと判りにくいので、今回、目の当たりに出来て参考になりました。

最近の平均寿命は80歳を超えています。健康寿命との差は10年近いようです。

加齢と共に進行する病を抱える身ではその差がより広がるのではと危惧します。自力で生活できる状態を維持していくために今回教わった運動を役立てたいと思いながら寒い会場を後にしました。



## 私のパーキンソン病

守谷市 池田弘子

右足の親指のふるえが気になり8年前大学病院で検査をし、結果パーキンソン病と診断を受けてショックでどう帰ってきたのかわかりませんでした。

それからは本を読みあさり、治らないと知り愕然としました。病気の名前もわかりませんでした。

あれから8年、いろいろなことがありました。周りの人には知られたくないので、消極的になり、人前にはあまり行かなくなりサークルも自然に辞めてしまいました。

3年ほど前に腰痛がひどくなり、

腰部脊椎間狭窄症と言われてしまいました。鍼灸、ブロック注射、カイロプラクティック等々、あらゆる治療を試みましたが治りません。私の近辺ではパーキンソン病の人は見かけないので皆さん家に引きこもっているのでしょうか。

近所のお医者さんはこの街にもいるけど名前は言えませんか。

同じ病気の人と話をしてみたいと思ったのが友の会に入ったきっかけです。同じ病気の人もいるのだなあと、これからは前向きに生きていこうと思っています。



## 県央・県北患者・家族交流会に思う ①

東海村 加藤辰男

兎にも角にも実行部隊が4名と言う超過疎の陣営で始まったこの会をどのようにもりあげて皆様がお帰りになれる時「たのしく」また「意義のある」とおもっていただけるかな・・・とそれだけを思いつつ準備を進めてきた積りでした。が、思惑とは裏腹に十分な準備も出来ないままこの日をむかえました。

ですが開けてびっくり、私の司会以外は総てうまくいっているようでした。それが証拠に2~3日してから1本の電話と1通の手紙がきたのです。そこには「役員さんの少なくなっている分、準備などでさぞ御苦勞の多かったこととお察しいたします。リハビリの「講演と実技」は今の私には大変に参考になりました。ありがとうございます。」とありました。ほんとうにありがたいことです。電話の方も本場のタヒチアンダンスすばらしかったよと言ってくれました。これでほんとうに「たのしく」また「意義のある」会になったんだと思えるようになりました。ありがたいです。

さて、準備の方から反省して行くとよくもこんなにうまくゆくものだと感じました。なぜってたったの1回ですよ。打ち合わせの会議を持ったのが。いかに皆さんが緊張して、これにあたったかがわかります。それに比べ私は①資料が細かすぎ

る②チラシ作成の催促を受けた、③会場使用の届書の催促をうけた。等々人にうながされて用が足りるありさまでした。反省。会場の机イスの異動も変則的だがあれでよかったと思う。

さて、今回司会初デビューの私でしたが自己評価は甘く見て50点かな。まず、①当日朝一で原稿の見直しをしていること。会の始めは声もそこそこ出てこれならいけそうだと思います。佐藤先生の講義も終わり、これからが大変、どうまとめたら良いものかと思っていた矢先に質問が時を切らさず出てきて私はコメントをすることもままならず、②マイクを持ってうろちょろするはめになってしまいました。③これを機会に恐れていた失語症というのでしょうか次の言葉が出なくなっていました。これはいかんと思ひ、なんとか次の言葉を見つけつけましたが③会の終わり、閉会宣言を「この会の終わりとします。」ということは、はしょってしまいました。さらに「ご自分の家に無事に着くまでがこの会の本当の終了です。」としめた。帰るときだれかに復唱され、ああこれでよかったんだなあと思った。

まあ色々ありましたが「たのしく」また「意義のある」会になったと思います。

この葉書は加藤さんが頂いたお礼状です。下さった方に了解を得て掲載致しました。

拝啓 寒さも少しずつ緩んでまいりました。水戸偕楽園では観梅客でにぎわっているようですね。

先日の患者・家族交流会は、役員さんの少なくなっている今、準備などでさぞご苦勞の多かったこととお察しいたします。リハビリの「講演と実技」は今の私には大変に参考になりました。ありがとうございました。

先日の毎日新聞俳壇の掲載で、

病窓を這ひあがりゆく冬の蜂

長崎市 宮崎政道。

毎日特養ホームに行き妻のリハビリをしながら奥深い作者の心境？を推察しています。拙文にて、お礼まで。草々。



北帰行の準備かも？

## 県央・県北地区の交流会に参加して ②

日立市 国兼 みち

3月13日の交流会に参加しました。少し寒い日ではありましたが、沢山の方がお見えになっておりました。

日常生活、病のことなど多くのことが聞くことができ、病に向き合う気持ちが少しは楽になりました。

歩いたり、リハビリをしたり、家事をしたりしていますが、時間がかかるとのこと、ああ私も同じだと思ったり、私だけではなかったのかと安心しました。

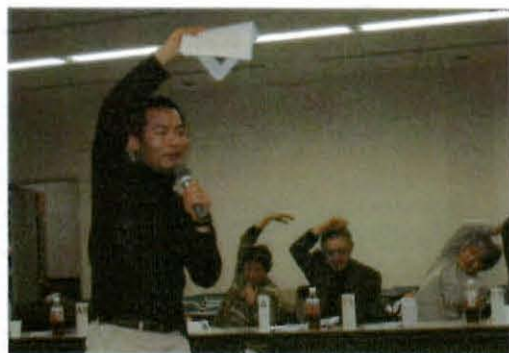
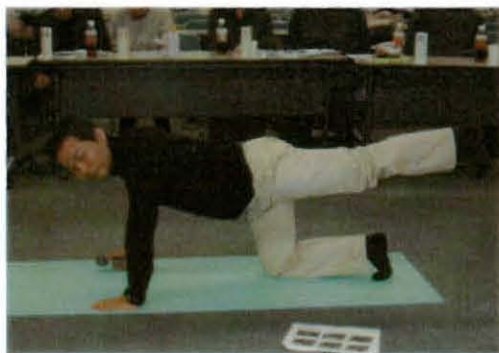
ご主人や奥様、家族の力も大きな支えになっていると思い、家に帰り、今日の話をついに話しました。「そうだなー」の一言で終わりました。

私も嫌なことがあってもくよくよしないで前向きに行きたい。どなたか忘れましたが、病とお友達やパートナーのように接していくと言っておられましたけれど、私もそれで行きます。ありがとう。

リハビリの講師の佐藤先生がやさしく丁寧に、詳しくお話をしていただきましたので、時間が短く感じられ、楽しい時間でした。

これなら私にもできるのではないかとやる気になりました。

今は交流会で歌った野口雨情の歌を鼻歌まじりで歌っているこの頃です



佐藤先生の指導

## 交流会に参加して ③

水戸市 久保田 浩

現在パーキンソン病の母親を介護しており、外出が困難な本人に代わり3月13日の交流会に参加しました。

個人的な都合もあり午後からの参加でしたが、リハビリの講習から始まりストレッチや体操の実演もあり大変わかり易く参考になりました。

また、佐藤先生は参加者からの質問にも丁寧に答えて下さり有意義な時間を過ごせました。自宅ではすでにいくつかの運動を試していますが、個人差が大きいためできないものもありますが、これからも継続してゆきたいと思います。

今回は初参加でしたが、今後このような機会がありましたら又参加したいと思います。



フルメンバーによるタヒチアンダンス



## 交流会に初めて参加して ④

水戸市 菊池 孝

昨年夏に右手が不自由なり、歩行がふらつくようになりました。医師に相談しましたところ、9月に医師からパーキンソン病だと伝えられました。10月には公私とも忙しい日々を送っておりましたが、その後には考えることが多くなり、落ち込むようになりました。

今年1月に友の会に入会し、今回初めて交流会に参加させて頂きました。今回は会員の方が20名、ご家族の方が12名参加されました。

プログラムは最初に、自己紹介と近況報告がありました。皆様は病歴や生活のことのお話をされました。病気のことを受け入れ、その中で前向きに日々を送っておられることがわかりました。あるご参加者が「病気に寄り添うように」とおっしゃっておられました。私は9月からこの病気と闘ってまいりました。いつも負けておりました。もう少し力を

抜いたほうがよいのでしょうか。これから長い時間をかけて病気のことを理解し、抗うことなく病気のスローダウンを目指していきたいと思っております。

午後は、日製ひたちなか総合病院の佐藤先生によるリハビリの講演と実技がありました。ストレッチで体を柔らかくすることが転倒防止に役立つことがわかりました。一日の生活の中でストレッチの時間や順番を習慣化させていきたいと思いました。現在行っておりますウォーキングと並行して頑張りたいと思います。しかし、早速教わりましたストレッチを試しましたが、背中が痛くなりました。なかなかうまくいかないものです。

日常生活のことや気持の持ち方などわからないことばかりです。

今後ともよろしくお願い致します。



佐藤先生のストレッチ

## 口の清掃から全身の健康

3月23日の読売新聞に『口の清掃から全身の健康』と言う見出しがありました。口の清掃は命にかかわる肺炎の予防につながります。と書かれていました。昨年の茨城県難病団体連絡協議会の講演も「口腔ケア」を取り上げられました。今後の大切な自分自身のケアになると思い皆様にお知らせ致します。

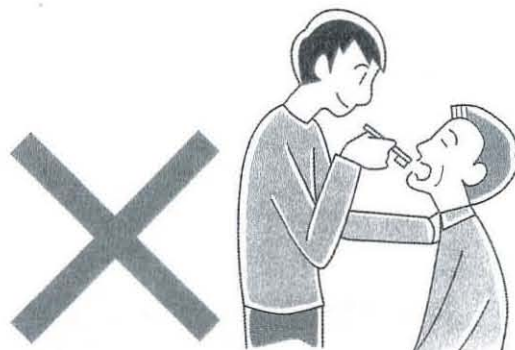
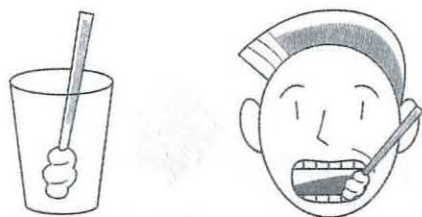
### ●口腔ケア

口の中は雑菌が繁殖しやすい環境なので、朝と食後には、必ずケアを行いましょ。虫歯や歯周病を防ぐことはもちろん、繁殖した菌や食物と一緒に、あるいは菌の多い唾液を誤嚥して肺炎を発症するのを防ぐ目的もあります。

**入れ歯の場合** 毎食後、外してブラシでしっかり水洗いをする。歯磨き粉には研磨剤が入っているので使用しない。外すときは下から、装着するときは上から先に入れる。

**寝たまま行う口腔ケア** 片マヒがある場合、マヒしている側に食べ物のカスが残っていることがあるので、割り箸にガーゼを巻いたものを用意し拭き取るようにする。

**イスに座って行う口腔ケア** 介護される人が上向きになると、あごが上がり、誤嚥の恐れがある。介護される人があごを引く姿勢になるように、介助する人は立つ位置を調節する。



## 平成 27 年度署名・募金のご報告と配分

平成 26 年度の署名と募金は会員様と他の方々にもご協力頂き、以下の結果となりました。毎年のことながら皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。この行事は友の会の活動事業の大きな一つです。今後ともご協力をお願い致します。

### 《署名活動》

#### 全国パーキンソン病友の会 (JPDA)

衆議院議長様 植本泰久他 385 筆

参議院議長様 植本泰久他 383 筆

#### 日本難病・疾病団体連絡協議会 (JPA)

茨難連扱い 植本泰久他 524 筆

### 《募金活動》

合計 196,000 円

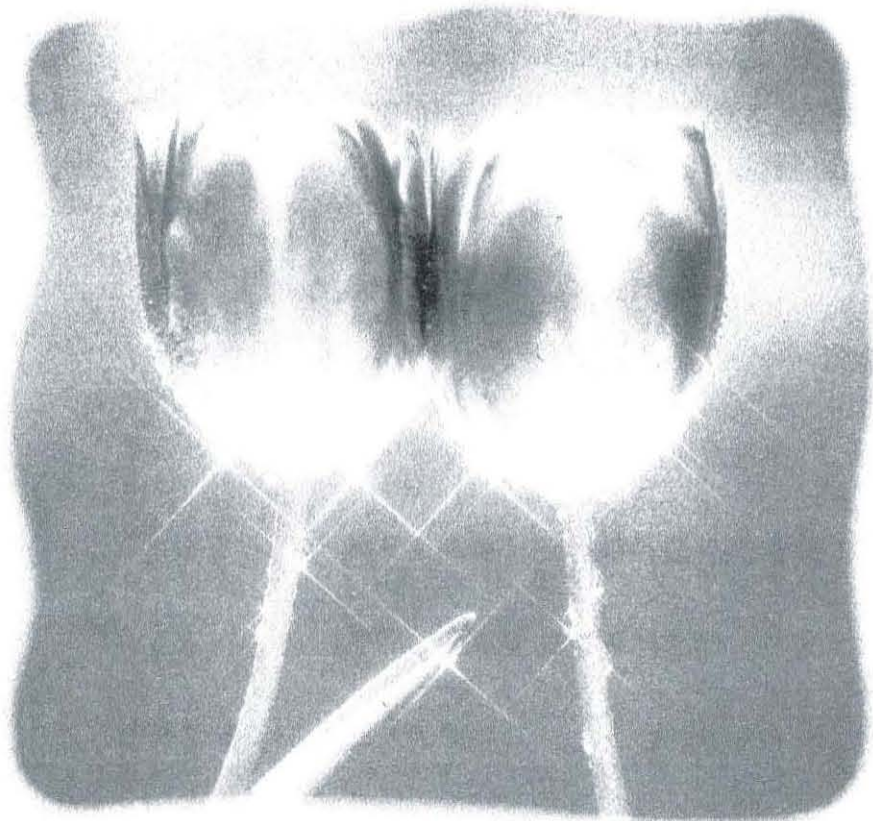
① 経費(切手、封筒) 14,536 円

② 茨城県支部 121,464 円

③ JPA・難病連 36,000 円 (60000×0.6)

④ 茨城県支部 24,000 円 (60000×0.4)

支部には ②+④の合計で¥145,464.-が入りますが、26 年度から全国パーキンソン病友の会本部に渡さない事に決まり、支部で国会請願の費用を出すことになりました。



患者さんのために  
信頼と愛がいっぱいつまった

藤本製薬グループ

**エフピー**

株式会社

〔お問い合わせ先〕

〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号

TEL:0120-545-427 FAX:0120-728-093

URL:<http://www.fp-pharm.co.jp/>

平成23年5月作成



家族の  
気持ちに、  
新しい薬で  
こたえたい。

あなたのからだを、気遣う。

あなたのこれからを、気遣う。

そんな家族の気持ちと同じ思いを胸に、

私たちは、新薬の研究に取り組んでいます。

必要な薬を、必要になるかもしれない薬を、

いち早く準備し、安心と共にお届けできること。

今も、ずっと先も、

あなたとあなたの家族を支える力になる。

それが私たちの薬づくりです。



大日本住友製薬

[www.ds-pharma.co.jp](http://www.ds-pharma.co.jp)

**gsk**

GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと

Do more, feel better, live longer



Do more,  
feel better,  
live longer

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする医薬品およびヘルスケア企業です。中枢神経領域、呼吸器領域、ウイルス感染症、がん治療領域などの医療用医薬品やワクチン、「コンタック」「アクアフレッシュ」「ポリデント」「シュミテクト」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。

**グラクソ・スミスクライン 株式会社**

本社 〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル

<http://glaxosmithkline.co.jp>

## 事務局からのお知らせ

### ◎ 平成 27 年度署名募金の報告

平成 27 年度署名の集まりが少なかったのです。衆・参両院の署名は昨年と比べると 200 筆位少なくなっています。募金は積極的にご協力をして頂いた方がおられたので多く集まりました。この事業は全国パーキンソン病友の会の大きな活動の柱です。今後とも皆様のご協力をお願い致します。

### ◎ 平成 28 年度第 31 回支部総会・医療講演会

日時 : 平成 28 年 4 月 17 日(日) 10:30~14:50

場所 : 茨城県総合福祉会館 4 階 大研修室 TEL:029-244-4545

内容 : 午前・・・支部総会  
午後・・・医療講演会

講師 国立精神・神経医療研究センター病院 副院長  
神経内科診療部長

パーキンソン病・運動障害疾患センター長

村田美穂先生

(専門はパーキンソン病治療です)

#### 演題 「パーキンソン病の治療:今とこれから」

3 月 18 日に往復はがきで案内をお出ししましたが締め切り日を記入漏れしましたので、4 月 10 日までにお願い致します

### ◎ 会費納入について

平成 27 年度の会費の納入がされていない方や 2 年納入されていない方はなるべく早くお願い致します。振替用紙を入れます。払ったのに手違いで入った時には連絡下さい。

## 編集後記

今年度最終の支部だよりです。今年度は水戸市にて全国大会を行い、また今年度は支部設立30周年で水野美邦先生による記念講演会も行って、会員皆さんに形ばかりの記念品もお届け致しました。これも会員皆様のご協力のお陰であると感謝しております。支部役員が少なく、役員としてお手伝いいただける方は、ご連絡を頂きたいお願い致します。

会員皆様の体験記、自分史、生活の工夫、苦言、行ってほしいことなど、また、詩、短歌、俳句、川柳、その他の作品など募集しています。ご自分の発表の場としてご利用下さい。

なお、メールを使われる方はメールでお願いします。(メールアドレスは表紙にあります。)

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒301-0856 龍ヶ崎市貝原塚町3552-6

TEL&FAX 0297-64-3546

発行者 特定非営利活動法人・障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドウ-ラ 祖師谷102号室

TEL 03-6277-9611 FAX 03-6277-9555

頒 価 500円